

# 相生市議会だより

第 106 号

平成24年9月10日

発行：相生市議会〈相生市旭一丁目1番3号 ☎23-7122〉

編集：議会報編集委員会



彼岸花（フォトはなの仲間提供）



## 六月議会から

六月定例市議会は、六月十九日から六月二十七日までの九日間にわたって開催されました。

今期定例会では、報告一件、条例改正等六件、補正予算一件、人事案件二件、選挙二件、請願一件、意見書案一件を審議し、すべての案件は、可決、了承等されました。その主なものは六ページにまとめました。

一般質問は、七名の議員が行い、市当局の現状、方針等考え方をたずねました。その概要については、二〜五ページにまとめました。

# 〈6月議会〉 一般質問

開票事務改革について  
市の施設の節電について  
学校給食について  
なかがま 中山 えいじ 治

**問** 開票所要時間ランキング同レベル市五百一中、二百二十九位、効率性四百二十一位をどう理解するか。

**答** 開票事務において最も大切なのは、数値というよりは、正確性であると考えています。

**問** 長野県小諸市や福島県相馬市などの開票事務改革先進地をどのように理解するか。

**答** 開票時間短縮や効率性向上を目指した創意工夫は素晴らしい。正確性を確保の上で、開票事務従事者の意識を高め効率化を目指したい。

**問** 節電効果の大きいベスト3はどうか。

**答** 予測では、一番に空調、二番に照明関係、三番に電算関係と思っています。

**問** 大和郡山市のような消費電力を上げず照度を上げる検討は。

**答** 来年度に向け、どう取り組むか検討が必要だと思っています。

**問** 大和郡山市は学校施設照明でHf高出力器具(※)に取り替え、成果を出し、リースで負担の平準化をしている。相生市はどうか。

**答** 耐震化に対応した設備改修が必要となりますので、学校施設全体の中で検討したい。

**問** 芦屋市や今治市のように調理場毎に栄養士の配置ができないか。

**答** 三名の栄養教諭が小学校に配置されています。あと四人は市費で採用しなければならず難しいです。

**問** プロの出前調理によるスーパー給食に取り組む考えは。

**答** スーパー給食は行っていないが、プロの調理人による親子料理教室を小学生と保護者を対象に実施しています。

**問** 今治市では子どもだけで作る弁当の日を設け、食育の結果を表現している。今後の検討は。



学校給食

**答** 十分に把握して研究したい。

**問** 今治市では学校給食の食材が地域ブランドとして流通しているが、取り組む考えは。

**答** 教育委員会と検討し、ブランドができる形が一番と思います。

**問** 第二期行財政健全化計画に係る財政見通しと財政運営について

みうら 隆利  
三浦

**問** 第二期行財政健全化計画では、平成二十七年までの財政見通し推計が行われていますが、(仮称)市民文化ホール建設や計画当初になかった事業についてどのようになっていますか。

**答** 第二期行財政健全化計画策定時に盛り込んでいない事業は、(仮称)市民文化ホールで約二十五億円、美化センター長寿命化の大規模改修で五億七千三百万円を予定しています。

**問** 財政見通しに大きく影響をおよぼす生活保護や高齢者、障害者等の福祉施策、施設の老朽化等による投資的事業などの概要は。

**答** 本年度に策定中の橋梁長寿命化修繕計画、公営住宅および下水道の長寿命化計画などは、計画策定後に経費が判明しますので、現時点では不明です。福祉施策の扶助費については、約二十一億円をベースとして、毎年二千万円の増加で条件を設定しています。平成二十三年度から五年間で約百十億円を見込んでいます。

**問** 今後の財政健全化計画と財政運営の取り組みについて伺います。

**答** 行財政健全化計画の見直しについては、第二期行財政健全化計画で、地域力の向上を目指して、人口減少や教

育、子育てなどの定住施策を展開するとともに、行政改革として市税等の徴収率の向上など、十項目の取り組みを設定しています。今後の財政運営の取り組みについては、第五次相生市総合計画の財政健全化において、適正な課税と確実な収納に努め、財源の安定確保を図るとともに、限られた財源を有効に活用し、長期的に実質単年度収支(※)などの均衡を図ることを基本方針としています。

**問** 日本各地で外国資本による水源林の買収実態の報道がある。世界の水需給が逼迫し、世界各地で水源林を確保する動きが活発化している中で、日本で森林買収された自治体では、地下水を公水とする条例制定の動きがある。相生市における状況、近隣市町の動きはどうか。

森林資源の管理・保全について  
くすだ 道雄  
楠田

※Hf高出力器具：省エネ照明器具  
※実質単年度収支：単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加減したもので、実質的な収支を把握するための指標  
-2-



野生動物育成林

**答** 森林法の一部改正により、本年四月より、森林の土地を取得した場合、市長への届け出が必要になり、細かな把握ができます。外資系企業によるミネラルウォーターの取得が問題になっている地域があるが、相生市には、豊富な水源はありません。県、近隣市町においても地下水取水の規制条例は必要なく、制定されていません。

**問** 揖保川地域森林計画の中で、災害に強い森林の整備では、山腹の崩壊や土砂の流出を防止するため間伐木を利用した土砂流出防止柵の設置とあるが、相生市の状況はどうか。

**答** 保育所のように保育に欠ける子どもを主眼に置いた事業、保護者の就労支援を目的とした事業ではありません。

**問** 幼稚園での預かり保育について、現在十六時三十分までとなっているが保育時間の延長の考えはあるのか。また、長期休み中は無いが、考え方は。

幼稚園・小学校での保育について  
通学路での事故について  
なかの野 くにひこ彦

**問** 放課後児童保育に利用となっているが高学年の利用の要望はあるのか。今後利用児童が増えるか。

**答** 子育て支援に関するニーズ、意識を把握する必要があれば一つの方法として考えます。

**問** 子育て世代の保護者からの思いや意見を聞く必要があると思うが、アンケート調査は実施されないのか。

ただ、需要が高まっております。市内の幼稚園・保育所の現状、他市の状況を勘案しつつ、さらに研究する必要があると見ます。長期休業中は、家庭教育を充実して行く時期であるため、あえて預かり保育を行う必要はないと考えます。



預かり保育

**問** 定例校長会で通学路の再点検について指示しました。教育委員会でもスクールガードリーダー(※)や交通指導員の活動場所を確認するのと同時に、危険箇所がないか巡回しています。小学校でも教職員が児童と一緒に下校し、危険箇所の確認をしています。

**答** 高学年の利用の要望は今教育委員会へは直接入ってきていません。利用が増えてきた時の対応は希望する児童をすべて受け入れるのは困難な状況であるため低学年を優先するということを考えざるを得ません。

**問** 学生の通学路について市内で危険や事故のリスクの高い場所はあるのか。また、保護者や市民からの通報などがあるのか。

**答** 緊急を要する通報はありません。毎年、小学校においては、地区懇談会で通学路について危険箇所がないか話し合っており、危険な場所には交通指導員に立つてもらっています。

**問** 矢野・若狭野小学校統合に伴う校名再考の署名が矢野町地域有志により提出されました。署名数千五百五十九人、矢野町有権者の七十一・二%の多さです。この署名活動にどう対応されるのか。

**答** これまでの経緯、矢野町・若狭野町両自治会の意向もあるので協議の中で判断したい。また、統合時期は、両自治会また署名された方および有志の方も平成二十五年四月一日に異存がないとのことですので、その日程で統合できるよう努力したいと考えています。

**問** 統合後の矢野小学校跡地利用の具体的な進捗状況はどのようになっているのか。

**答** 矢野地区の自治会を中心とした組織と行政と一緒に跡地利用の

矢野小学校  
・若狭野小学校の統合について  
たなか ひでき 田中 秀樹

※スクールガードリーダー：学校の防犯体制および学校安全ボランティア（スクールガード）の活動に対して専門的な指導を行う者

検討をしていく提案を行っており、条件が整い次第、協議を開始する予定です。本来統合と同時に矢野小学校の新たな利用がスタートすることが最善でありますが、十分な協議のため時間をかけ検討していきたい。

**問** 統合後の旧矢野小学校の資料管理はどのようにされるのか。その管理計画、管理方法等についてお伺いします。

**答** 矢野小学校の備品、資料については、現若狭野小学校に移転する予定です。平成二十五年四月一日の統合に向け、矢野・若狭野小学校の学校関係者、PTA、矢野・若狭野町連合自治会の代表者など二十五名からなる統合準備委員会で管理方法等についても協議を行います。

防災について  
情報発信について

うしろだ 後田 まさのぶ 信

**問** 広域災害時に、応援体制や確実に迅速な対応が可能と思われる

る、広域災害時協定があるが、取り組み状況はどうなっているか。

**答** 広域協定は、義士二府七県での応援協定があります。災害時にはより多くの遠方の自治体との協定がセーフティネットとなりますので、災害の想定や被害規模等も考慮し、本市にとつて有用となる協定の締結について、内容の見直しも含め、検討していきます。

**問** 協定と地域防災計画との連携は。

**答** 各計画に対応しており、それぞれの協定内容に基づき相互に支援活動等を行う事となっています。

**問** 支援自治体の範囲が重複する協定などがある中で災害の種類や状況によって整理しておく必要がある、今後、現在の協定内容を検証し、引き続き検討していきます。

**問** ホームページでの災害情報提供の対策について。

**答** 今年度、ホームページのリニューアルに合わせて、警報発令時など、災害警戒体制移行の

場合には、通常時のトップページを災害対応専用ページに切り替え市民等への情報発信を行う予定です。

**問** ハザードマップの周知や市民の反応は。

**答** あらゆる機会をとらえて積極的に取り組んでおり、様々な団体の研修会に出向き、ハザードマップの見方や活用方法等について周知を図っているところです。

**問** 研修によって様々なご質問や意見を頂戴しており、参加していただいた方には防災に対する意識を高めていただいていると感じています。

定住促進のための  
住宅施策について

いづき 岩崎 おさむ 修

**問** 市営住宅は、昭和四十年代に建てられたものがほとんどで、老朽化が進み、加えて風呂の無い住宅や駐車スペースもないなど多くの問題が指摘されてきました。今年度市営住宅の長寿命化計画が策定されますが、その内容について。

**答** 老朽化が進む現状の住宅に対して、外壁や風呂など、居住環境の改善等、長期的な視野に立った維持管理を目的に、計画的改修により、住宅の延命化を図るため策定するものです。

**問** 市営住宅建て替えの考えは。

**答** 耐震診断で延命化できない住宅は、建て替え計画を策定する予定です。建設候補地は、現地で建て替え、市街化区域内市有地、山崎町雇用促進住宅第二宿舍の閉鎖となった場合の跡地などで検討していきたいと考えています。

**問** 老朽化し危険な空き家対策の現状と今後の取り組みについてどのようにお考えですか。

**答** 安全安心、防災上の観点から、所有者や管理者に、管理指導・改善要望を行っています。基本的には個人財産権の問題もあり、ただちに解決できない場合が多

いのが実情です。

危険な空き家に対応する場合の根拠法令の整備を引き続き国に要望していきたいと考えています。

**問** 定住促進のために空き家バンクの有効活用、空き家バンクの積極的な取り組みが求められるが、今後の取り組みは。

**答** 空き家の有効活用は、定住を進める本市の施策推進の上で重要な要素と認識しています。空き家バンクは、五月末から本格運用を開始していますが、登録、申請見込みは少ない状況です。

登録件数を増やせるよう引き続き取り組むと



空き家バンク



議員一日研修（岡山県笠岡市）

もに、空き家を住宅ストックとして活用し、さらに効果的な定住促進を図るために、研究していきたいと考えています。

**議員一日研修視察**  
(七月十七日)

議員全員で、岡山県笠岡市へ「線引きの廃止について」視察研修を行いました。

笠岡市は人口約五万三千人で、昭和四十七年に市街地の計画的な整備とともに、郊外における無秩序な市街化を防止するために、市街化区域と市街化調整区域の線引き制度を導入していました。が、市街化区域が非常に

狭いため、周辺市町に人口の流出が続いており、平成二十年に線引き制度を廃止しています。

現状と今後の課題について説明を受け、本市の状況と比較し意見交換を行いました。

**委員会の審査から**

**民生建設常任委員会**  
(五月三十一日開催)

「地域公共交通については、相生市地域公共交通総合連携計画の策定体制、意見聴取方法等の説明を受けました。

委員より、アンケート調査の対象や人数はどの質疑があり、アンケートは無作為抽出の三千人に実施し、また、公共交通空白地を対象にヒアリングを実施するとの説明がありました。

「地域医療について」は、西播磨保健医療圏域における産科・小児科の医療体制について説明を受けました。

委員より、産科・小児科の県に対する西播磨四市三町での要望について

は、新設は困難との結論であるが、市の考え方はとの質疑があり、市単独の要望では難しいが、関係機関と連携し方策を探りたいとの説明を受けました。また、委員より、市民病院の看護部長が不在だが県への要請等の状況はどうかとの質疑があり、現在、県からの派遣は打ち切られており、今後派遣はないとのことである。現在は、看護主任を中心に看護部を運営しており当面は看護部長不在のまま運営していく方針であるとの説明がありました。

「有害鳥獣対策について」は、昨年度の猟期中シカ捕獲頭数一覧について説明を受けました。

委員より、昨年度イノシシの捕獲頭数が減少した理由はこの質疑があり、原因は不明だが、売り物となる肥えたイノシシが少ないので報奨金が出るシカを中心に捕獲されたと考えられるとの説明がありました。

また、委員より、農作物の被害状況はこの質疑があり、ヌートリアやカラス等も含めた平成二十

二年度の被害額は、千六百十五万四千円で、平成二十三年度の被害額は、集計中であるが九百万円程度であるとの説明がありました。

**総務文教常任委員会**  
(六月一日開催)

「地域防災計画について」は、地域防災計画の周知等について説明を受けました。

委員より、福祉避難所指定の現在の進行状況はこの質疑があり、今後、各施設に協力依頼を行っていきたいとの説明を受けました。

また、委員より、海抜表示について表示地域や箇所の方針はこの質疑があり、電柱巻き付け方式で、浸水予想地域に約百五十箇所、海抜を表示する予定であるとの説明がありました。

「自治基本条例について」は、パブリックコメントでの主な意見内容とし市の考え方について説明を受けました。

「学校施設の管理運営等について」は、柔道の授業および矢野、若狭野

小学校の統合についての説明を受けました。

委員より、地域クラブ等で柔道を習っている生徒の把握と活用はこの質疑があり、正確な人数は把握してないが、教師の指示に従い見本を見せるなどしているとの説明がありました。

次に委員より、矢野町地域住民有志からの校名再考の要望書提出についてどのように考えているかとの質疑があり、真摯に受け止めこれまでの経緯も含め丁寧に説明する責任があると考えているとの説明がありました。

また、委員より、このような状況に至った責任の所在はどこにあるのかとの質疑があり、両連合自治会の合意のもと進めてきたが、趣旨が十分に伝わらなかったのは、教育委員会の説明が不十分であったと考えるとの説明がありました。

また、委員より、今後、校名を見直す予定はあるのかとの質疑があり、現段階では、両連合自治会の意向もあるので、協議の中で判断していきたいとの説明がありました。

6月議会で  
決まったこと

【報告】  
◇相生市土地開発公社の経営状況について報告  
・報告を承認しました。

【条例】  
◇相生市税条例の一部を改正する条例

・関係法令の改正により、固定資産評価額の特例の継続等について改正するものです。

◇相生市福祉医療費等助成条例の一部を改正する条例

・関係法令の改正により、福祉医療費等助成制度の所得判定に係る算定税額について改正するものです。

◇相生市印鑑条例の一部を改正する条例

・関係法令の改正により、外国人住民の印鑑登録の取扱い事項について改正するものです。

◇相生市手数料条例の一部を改正する条例

・戸籍事務の電算化にあたり、追加するものです。

◇相生市自治基本条例

・市政に関する基本的な事項を定め、市と市民等による参画と協働のまちづくりを推進することを目的に、制定するものです。

【選挙】  
◇兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員について選挙を行い、瀬川 英臣副市長が当選しました。

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について選挙を行い、角石 茂美、吉田 政男各議員が当選しました。

【予算】  
◇平成二十四年度相生市一般会計補正予算  
・法人税の還付金および還付加算金について補正を行うものです。

【人事】  
◇相生市名誉市民として次の方の選出に同意しました。

東京都港区六本木  
五丁目十三番  
三ー一〇一号  
原田 明夫 さん

【採択】  
◇少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度二分の一復元に関する請願書

【意見書】  
六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

◇少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度二分の一復元に関する意見書

【委員】  
◇農業委員会委員について、  
阪口 正哉、楠田 道雄各議員を推せんしました。

請願の審査結果

【採択】

◇少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度二分の一復元に関する請願書

意見書

六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

議長交際費の執行状況について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

平成24年度支出明細

区	分	件数	金額(円)
慶	弔費	7	79,920
渉	外賄関係	2	8,992
そ	の他	3	14,100
合	計	12	103,012

平成24年度予算額  
300,000円

☆ 詳しくは、市議会ホームページ(※)をご覧ください。

議会活動状況

<6月>

- 10 議会報第105号発行
- 12 議会運営委員会
- 19 議会運営委員会  
定例市議会 開会
- 20 定例市議会 再開
- 21 民生建設常任委員会
- 22 総務文教常任委員会
- 27 定例市議会 閉会

<7月>

- 3 愛知県丹羽郡扶桑町議会行政視察 来相
- 6 兵庫県市議会議長会 理事会  
(宍粟市)
- 9 西播磨市町議長会 総会 (姫路市)
- 10 福島県郡山市議会行政視察 来相
- 12 長野県佐久市議会行政視察 来相
- 17 議員一日研修視察 (岡山県笠岡市)
- 19 近畿市議会議長会 理事会  
(加西市)
- 23 議会報編集委員会
- 24 兵庫県市議会議長会 総会  
(加西市)
- 26~27 播但市議会議長会行政視察  
(新潟県長岡市)
- 31~ 1 全国市議会議長会  
建設運輸委員会 (東京都)

<8月>

- 9 兵庫県丹波市議会行政視察 来相
- 21 長野県東御市議会行政視察 来相
- 22 兵庫県尼崎市議会行政視察 来相
- 23 民生建設常任委員会
- 24 総務文教常任委員会
- 28 議会運営委員会

<9月>

- 4 定例市議会 開会
- 5 定例市議会 再開
- 6 民生建設常任委員会
- 7 総務文教常任委員会